

(別紙5)

補助事業番号 28-2-019
補助事業名 平成28年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

【巡回療育相談】

医師・看護師・専門指導員(保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・相談支援専門員等)等療育の専門家で療育相談班を編成し、在宅で生活をする重症心身障害児(者)(以下「重症児(者)」という)及び保護者の療育・相談に応じる。障害・病気・療育のことだけでなく、教育や日常生活上の悩みなど幅広い相談に対応する。また目まぐるしく変わる障害福祉制度に関して正しい情報を提供し、サービスの利用方法なども案内し、障害児(者)の生活がより豊かになるよう支援する。様々な職種を相談班に入れることでその場であらゆる悩みに対応することができ、保護者の不安を解消することにつなげる。実施地区の実情に応じて会場形式か家庭訪問形式で行う。

【集団指導】

重症児(者)とその家族を対象に1泊2日の集団指導を行う。重症児(者)にはスタッフやボランティアとの交流を通し社会性を広げ、様々な体験の機会を与える。保護者に対しては日常生活から離れてのリフレッシュの機会や参加者との意見・情報交換の機会、また専門家による講習会を実施し、障害福祉制度に関する正しい知識や日常生活に役立つ情報を学び習得する機会を与える。これにより在宅で暮らす重症児(者)が地域で生きる力と将来への希望を獲得する。

(2) 実施内容

<http://www.normanet.ne.jp/~ww100092/hojyojigyoku28.html>

【巡回療育相談】

医師・看護師・専門指導員(保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・相談支援専門員等)・地域の公的機関の職員及び当会(本部・東京)から派遣したケースワーカー等で巡回療育相談班を編成し実施地に派遣し、在宅で暮らす重症児(者)とその保護者に対する診療及び療育に関する相談に応じ親たちを指導した。実施地区の実情に応じ、会場形式か家庭訪問形式で実施した。

実施地は、島根県・福島県・愛媛県・広島県・熊本県の5地区で次の通り実施した。

(別紙5)

① 島根県

平成28年11月1日(火) あゆみの里(会場3名)

平成28年11月2日(水) 西部島根医療福祉センター(会場4名)

(相談班の編成) 医師2名・看護師0名・専門指導員11名

② 福島県

平成28年11月12日(土) いわき病院 いこいの家(会場1名)

平成28年11月13日(日) コパン・クラージュ(会場3名)

(相談班の編成) 医師1名・看護師1名・専門指導員9名

③ 愛媛県

平成28年12月17日(土) ハビリテーリングセンターV i v r e(訪問8名)

平成28年12月18日(日) " (訪問4名)

(相談班の編成) 医師1名・看護師0名・専門指導員8名

④ 広島県

平成29年1月19日(木) 鈴が峰(会場2名)

平成29年1月20日(金) 広島市内(訪問3名)

(相談班の編成) 医師1名・看護師2名・専門指導員7名

⑤ 熊本県

平成29年2月11日(土) NPO法人 花梨の家 わがんせ(会場3名)

平成29年2月12日(日) 熊本江津湖療育医療センター(会場5名)

(相談班の編成) 医師2名・看護師2名・専門指導員9名

(別紙5)



医師による診察



医師による診察

(別紙5)

【集団指導】

在宅で生活をする重症児（者）とその家族を対象に1泊2日の集団指導療育キャンプを実施した。

医療的に重度な重症児（者）も安心して参加できるよう医師・看護師の医療スタッフの他にも専門指導員（保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士等）・補助員等専門スタッフを多めに配置した。

実施地は、栃木県・徳島県・宮城県・新潟県・岡山県・千葉県・青森県の7地区で次の通り実施した。

① 栃木県

実施日時 平成28年7月23日～24日

実施場所 東照宮 晃陽苑（栃木県日光市）

参加者72名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
30名	17名	14名	11名	72名

② 徳島県

実施日時 平成28年8月17日～18日

実施場所 南淡路ロイヤルホテル（兵庫県南あわじ市）

参加者21名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
6名	5名	6名	4名	21名

③ 宮城県

実施日時 平成28年8月25日～26日

実施場所 ホテル松島大観荘（宮城県宮城郡）

参加者29名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
8名	7名	8名	6名	29名

(別紙5)

④ 新潟県

実施日時 平成28年8月27日～28日

実施場所 法末自然の家やまびこ（新潟県長岡市）

参加者46名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
13名	9名	9名	15名	46名

⑤ 岡山県

実施日時 平成28年8月27日～28日

実施場所 旭川児童院通園センター（岡山県岡山市）

参加者70名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
10名	9名	23名	28名	70名

⑥ 千葉県

実施日時 平成28年10月22日～23日

実施場所 かんぼの宿潮来（茨城県潮来市）

参加者60名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
20名	16名	15名	9名	60名

⑦ 青森県

実施日時 平成28年11月19日～20日

実施場所 むつグランドホテル（青森県むつ市）

参加者44名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
10名	10名	9名	15名	44名

(別紙5)



レクリエーション風景



レクリエーション風景

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

【巡回療育相談】

今年度も相談者の日頃の悩みや不安にあらゆる視点から応じることができた。巡回療育相談の強みは、その職種の多様さである。医師・看護師・専門指導員等、または重症児（者）の親としての先輩や、行政担当者の参加もあり、一度に様々な分野の相談内容に応じることができた。

また実施地の多くは都市部から離れ、孤立しがちなエリアであることが多いが、この巡回療育相談をきっかけに横の繋がりができ、相談会終了後も気軽に相談し合える関係性が保たれることが期待される。

【集団指導】

重い障害を抱えている方々はご家族だけでは外出も困難であるケースも多く、たくさんの方々のサポートで実現する集団指導療育キャンプはそういった方にとって唯一の外出、宿泊機会となっている。

保護者も日々の療育、介護に追われている中で集団指導療育キャンプはリフレッシュする貴重な機会となっている。この様に息抜きする機会を提供することも重要な家族支援といえる。

毎年楽しみにしているのは重症児（者）本人とその家族のみならず、スタッフやボランティアも恒例として待ちわびている。学生ボランティアもこのキャンプの終了後、福祉関係の仕事を目指す様になるなど進路に影響を与えることもあり、福祉業界の人材を生み出すケースもある。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会

(シャカイフクシホウジンゼンコクジュウショウシンシンショウガイジ(シャ)ヲマモルカイ)

(別紙5)

住 所： 〒154-0005

東京都世田谷区三宿2-30-9

代 表 者： 理事長 有馬正高 (リジチョウ アリママサタカ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 中村 卓馬 (ナカムラ タクマ)

電 話 番 号： 03-3413-6781

F A X： 03-3413-6919

E - m a i l： mamorukai@msi.biglobe.ne.jp

U R L： <http://www.normanet.ne.jp/~ww100092/>